

【院長挨拶】

COVID-19 感染がパンデミックを引き起こしてから、4 回目の 4 月を迎えました。この間、卒業式・入学式・入社式など大人数が集まるさまざまな節目の行事は、中止やリモートにせざるを得なくなりました。残念ながら今回の法人入社式も一堂に会しての行事は取りやめになりました。一方で、今後の感染者数について、感染力の強い変異株が出現しなければ、ゴールデンウィークや 8 月のお盆に低い山を形成するもののその後緩やかに減少するという見通しもあるようです。



ところで当院には三つの病院理念が掲げられています。簡潔に言えば、「自分や自分の家族が患者になった立場で、患者さんに接する」「地元の医療介護者と連携する」「自らの職場を働きやすく改善する」ということになるでしょうか。日々の仕事に取り紛れて、とすると見失いがちな目標を、改めてこの機会に振り返り思い返すことが大切だと感じます。4 月は年度の初めで人の入れ替わりがあります。この病院に新たに加わってくれた新入職の皆さん、「いざという時に頼りになる病院」「あなたの家族を預けることができる病院」を目指して一緒に努力していきましょう。

寺柿 政和

【脳神経外科外来の増枠】

当脳神経外科では、毎週木曜日に脳神経外科外来を増枠いたしました。同科の他の外来枠同様、頭部外傷、脳卒中、脳腫瘍などの患者様を対応致します。これで金曜日を除く平日の外来体制が整いました。現在予約も少なく受診しやすくなっております。是非、木曜日外来をご利用ください。

脳神経外科 外来診察医担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	川端 信司	磯野 直史	加茂 正嗣	担当医	—	井上 洋人

脳神経外科・部長 磯野 直史

【2023 年度 医局人事一覧】

2023 年度は下記のような異動となりました。

科	職種	氏名	異動	氏名	異動	氏名	異動
消化器内科	入職	マツモト ユウジ 松本 侑士		タカシマ リョウタ 高嶋 遼太		トヤマ マサヒロ 遠山 昌宏	
	退職	ウラヤマ ナホト 榎山 菜穂子		タジマ ヒカル 田島 光		コウセイ ショウ 小西 勝也	
循環器内科	入職	ノムラ ナナカ 野村 菜々香		オノ ヒロシ 小野 博司		ホノカワ ナオキ 細川 直樹	
	退職	ヤマモト タカユキ 山本 崇之		コノノダ マコト 小野田 真保			
呼吸器内科	退職	クボ ヒロアキ 久保 寛明		タカキ ヒロユキ 高木 康裕		カワモト タカヒコ 川本 珠貴	
外科	入職	ツチタニ ショウゴ 土谷 将悟					
	退職	ハシモト タカユキ 橋本 拓朗					
緩和ケア科	退職	カタヤマ ヒロユキ 片山 博文					
形成外科	入職	オオハシ コウキ 大橋 剛輝		イマムラ マサキ 今村 正樹			
	退職	ツチムラ ナオキ 辻口 幸之助 4/30		トノノリ ナオキ 東野 えりか 4/30			
整形外科	入職	ニシウラ レイ 西浦 伶		イノウエ ユウタ 井上 裕太		ミナミタニ ナオキ 南谷 尚輝	
	退職	ナカヰ トモユキ 中井 智也		キナ ヒロユキ 岸 裕貴		ササキ タカユキ 佐藤 雅俊	
救急・総合診療科	退職	ウラベ ヒロユキ 慶元 正洋					

診療部医師 就任あいさつ

【消化器内科 医員あいさつ】

2023年4月より東住吉森本病院消化器内科に赴任しました松本侑士と申します。私は平成25年に鳥取大学を卒業し、その後平成27年に大阪市立大学消化器内科へ入局しました。その後は大学病院や市中病院、大学院を経てこのたび6年ぶりに東住吉森本病院に勤務することとなりました。



内視鏡検査や内視鏡治療を主とし、一日でも早く地域の先生方ならびに患者様に信頼していただける医療を提供できるように一層努力していく次第です。まだまだ未熟者ではありますが、どうぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

【形成外科 医長あいさつ】

令和5年4月より当院形成外科へ赴任致しました大橋剛輝と申します。平成28年度に大阪医科薬科大学を卒業し、平成30年度に同大学形成外科へ入局致しました。入局後は、一般形成外科に加えてマイクロサージャリーの研鑽を積み、切断指の再接着や再建手術等に携わらせて頂きました。



まだまだ未熟ものながら、顔面外傷や熱傷等の外傷全般から眼形成、皮膚悪性腫瘍、難治性潰瘍、ケロイドなど幅広く対応し、地域医療の一端を担えるよう精進して参りたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

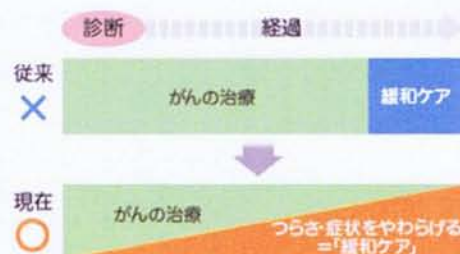
【連載 no.30】 緩和ケア

看護部・副部长 江口 由紀

30回目の連載となりました。節目に当たり、もう一度「緩和ケア」について振り返りたいと思います。緩和ケアは、「病気に伴う身体と気持ちのつらさを早期に発見し、的確なアセスメントをしたうえで和らげ、自分らしい人生を送ることができるように支えるケア」です。しかし、緩和ケアを取り巻く現状は、がん治療ができなくなった方への医療である、症状緩和が不十分である（医療用麻薬の消費は他の先進国と比較し非常に少ない）等です。

緩和ケアの提供は、基本的緩和ケアと専門的緩和ケアの2つに分けられます。基本的緩和ケアとは、手術や抗がん剤などといったがん治療を行う医師や看護師など、がん医療・がん看護に携わる全ての医療者により提供されるものです。専門的緩和ケアとは、基本的緩和ケアでは和らげることができなかったつらさを抱える方々に提供されるケアです。専門的なトレーニングを受けた医師や看護師などで構成されています。当院は、緩和ケア外来や緩和ケアチーム、緩和ケア病棟など専門的緩和ケアを受けられる体制を整えています。患者と家族等が希望する治療や過ごし方に合わせて、適切にサポート体制を選択していただきたいと思ひます。

緩和ケアの目指すところは、全人的ケア、QOLの維持・改善、家族ケア、チーム医療、継続的ケアです。そのためにも、緩和ケアを実践する医療者に必要な姿勢である「誠実」、「感性」、「忍耐」、「謙遜」、「思いやり」を忘れず、日々実践に繋げていきます。



引用：大阪府 HP, 緩和ケア

～類の変更により何が変わる？～ 2023年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上での取り扱いが変更となります。新型コロナウイルス感染症は、今まで2類相当として取り扱われていましたが今回の変更により5類感染症として取り扱うこととなります。類の変更により、何が、どのように変わるのか解説します。

【体制の変更】5類感染症に変更されることにより、患者さんの受診医療機関や発生届の提出について現状と変わることがあります。現段階では未確定の情報もありますので厚生労働省や行政機関からの情報は定期的に確認しましょう。

項目	現在	5/8以降
発生届	全数把握	定点把握
医療費	公費負担	自己負担（段階的に移行）
入院勧告	可能	不可
受診する医療機関	発熱外来	すべての医療機関（段階的に移行）
外出自粛要請	可能	不可
ワクチン	公費負担	当面は公費負担
マスクの着用等	屋外は不要、室内では着用する	個人の判断に委ねる ※医療機関では着用する

参考：厚生労働省 HP [新型コロナウイルス感染症について](https://www.mhlw.go.jp) | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

【感染対策】ウイルスが変わるわけではないので、感染対策に変更はありません。現状通り、飛沫感染対策を中心とした感染対策を実施します。特に、医療現場における手指衛生は新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず大切な感染対策ですので、この先も引き続き継続していきましょう。新型コロナウイルス感染症の流行を機に開始した感染対策の中で、清掃が困難なビニールカーテンの使用やパーテーションなどの対策については、見直しを行う良い機会であると考えます。

【連載 no.07】地域のいろいろ

地域医療連絡室 係長 杉井 健祐

『地域のいろいろ』では、院内に関わらず地域の彩り(いろいろ)ある社会資源をお伝えしていきます。

■がん相談支援センターをご存知ですか？

大阪市には22か所(国指定5か所・府指定17か所)のがん拠点病院があります。全てのがん拠点病院に「がん相談支援センター」が設定されており、当該病院の患者・家族に限らず、がん患者やそのご家族、地域の方々の様々なご相談に対応しています。

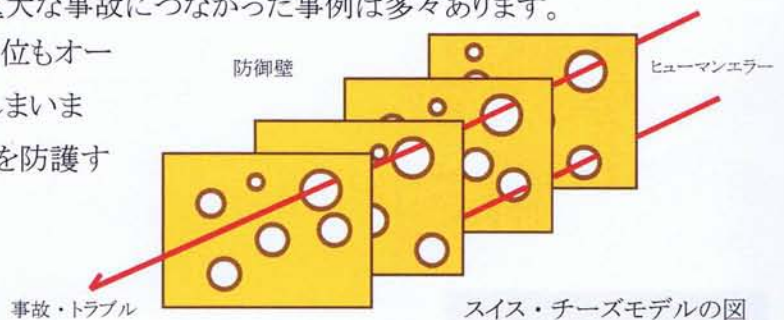
相談は、面談・電話・メールなど様々な手段で対応しています。

相談できる内容としては、検査・治療・副作用から、医療者とのコミュニケーション、今後の療養生活の過ごし方など多岐にわたって対応ができます。ご相談には費用も発生いたしません。お一人でも多くの方が、「がん相談支援センター」をご利用頂くことで、不安や疑問が解消し、安心して治療・療養が出来るようにと願っています。



医療安全でよく出てくる用語の中に「スイス・チーズモデル」があります。スイス・チーズモデルは、イギリスの心理学者ジェームズ・リーズンが提唱した事故モデルです。軽微なヒューマンエラーやシステム上のエラーが重なり、重大な事故が起きる様子をいくつかのチーズの穴をモデルにして図式化しました。事故はひとつの要因では発生せず、いくつもの要因が連鎖して起こるという考え方です。日常ヒヤリとしたことは、経過するうちに留めなくなり、その積み重ねが大きな事故につながります。例えば患者誤認も「普段から名字だけで呼んでいた、それまで間違えたことはなかった」軽微な事象のようですが、名字だけで呼ぶこと自体大変リスクがあります。それが慣習になり重大な事故につながった事例は多々あります。

名字だけで呼び、IDを確認しなかった、撮影部位もオーダーとは違い、結果的に重大な事故になってしまいます。スイス・チーズモデルのようにどこかでミスを防護するシステムや職場風土が大切です。



【当院初期研修医 GM-ITE® で全国上位の成績】

当院の初期研修医（1年次、2年次）が、臨床研修のアウトカムを客観化する基本的臨床能力評価試験（GM-ITE®）で全国上位の成績を収めました。2年次は2位（全591施設）、1年次は30位（全561施設）という素晴らしい結果です。研修医自身の努力もさることながら、彼らに関わる皆様の指導、教育の賜物です。皆様に感謝申し上げます。

【2022年度 基幹型研修医臨床研修修了証交付式開催】

2023年3月30日、恒例の臨床研修修了証交付式を開催いたしました。新型コロナウイルス流行も落ち着いてはきましたが、感染対策を十分に講じながら昨年に引き続き、院内にてささやかに実施いたしました。



■ 病院理念 ■

1. 患者さんの立場に立った、対話のある医療を提供するために努力します。
2. 地域医療施設との連携を深め、地域医療に貢献するために努力します。
3. より良い患者サービスをするために、働きがいのある職場環境の改善・維持に努めます。

■ 基本方針 ■

1. 「患者参加型」の安全で質の高い医療を提供します。
2. 地域完結型の医療サービスを提供します。
3. 地域の予防医療の啓蒙に貢献します。
4. 自己実現が出来る職場環境の確保を目指します。

■ 患者さんの権利 ■

1. 個人の尊厳の保持
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療を自ら決定する権利
5. 医療について知る権利
6. プライバシーの保護
7. セカンドオピニオンを受ける権利

東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ
 (地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス: m_chiiki@tachibana-med.or.jp
 電話: 0120-65-0343 FAX: 0120-10-5260

【受付時間】 平日 9:00 ~ 20:00
 土曜日 9:00 ~ 17:00

地域医療連携センター長 大場 一輝